

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760



社長兼務でした。市長には前市長も前助役も両社の社長兼務でした。市長には

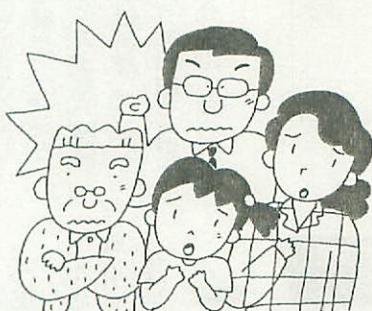
6万円を受け取っていたことがわかりました。市民の福祉は切り捨て、一部幹部はぬくぬく、の身勝手は許されません。

財政が困難と言ひながら

柴生進前市長が、市が40%を出資する第3セクタ

「川西都市開発」から退職慰労金3300万円、前助役が、同27%出資の「パ

ルティかわにし」から45



10月5日（金）の決算委員会では、委員から疑問、批判が続出。「今後、適切な指導と助言に努めるよう要望」との付帯決議が行われました。

決算委員会で付帯決議

この慰労金制度は、柴生氏が市長就任後に内規を改定された制度。道義的責任も含め受け取りを考えなすべきではないでしょう。

損失補償、8億円の低利融資などで支援している会社は、市の機関の移設、5億円のホールの一括借り上げやパルティの空きスペースへの退職金は2重取り。しかも、市は両社に対してもアステ

黒田みち・ブログ(日記)、問題提起に一役

9月14日付けブログで、なぜ、弱い者いじめを、なぜ、立派に役割を果たしている栄保育所を廃園に。一方で、なぜ、皮革工場への補償など巨額な税金のむだ遣いを・・・などと書いた後、「保育所の廃園が委員会で決まった日、柴生前市長に川西都市開発から3000万円を超える退職慰労金が支払われていることがわかりました。市長の退職金は出てるでしょう！普通に頑張っている公務員ばかりが攻撃を受けて、「民間」「民間」の大合唱。何か、ごまされていませんか。」

ブログを見て頂いた市民や議員、市の関係者の間で話題になりました。

「たんぽぽだより」で検索できます

「ヤフー ジャパン」の画面から「たんぽぽだより」で検索してもらうと黒田みちの活動報告「たんぽぽだより」が出てきます。そこからもご覧ください。

書き込みもどうぞ・・・(^_^)

「たんぽぽだより」の模様を変えました。色文字は読みにくいよ・・・とアドバイスを受けたので、秋色にしてみました。（画面の写真）

たんぽぽだより



ナツエルティのレクリエムを聽きに…♪



ほつと一息

「久しぶりに栗（渋皮煮）が食べたい」と高知から帰ってきた娘。娘に「タンサン（料理用重曹）買つといでね」と頼んで、私は3Kg（約100個）の栗をさげて帰宅。と、机の上には炭酸水（ソーダ）の瓶が1本（！！）。タンサン（重曹）を入れてアクをとり、柔らかくなるまで何度もゆでこぼす。「へえ！」だの「ほう！」だの、おしゃべりをしながら6時間余。何度も栗をつまみながら1日目は終了し、次の日に少し煮詰めてできあがり。日本の食糧自給率低下は、政治の大問題だが、四季豊かな日本の旬の味も次世代にしっかりと伝えておかなくちゃ・・・とちょっぴり反省。

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に.....

ご意見・ご要望をお寄せください



生活ぎりぎり高齢者に負担増

利益2倍増の大企業に税軽減

質問する佐々木議員
員 10日 衆院予算委



「ぎりぎりの生活をしている高齢者に何倍もの負担を押し付けておいて、空前の利益を上げている大企業が、なぜまともに税金を払わないのか」——日本共産党の佐々木憲昭議員は10日、衆院予算委員会の質問で福田康夫首相を厳しく追及しました。逆立ち税制、非正規雇用の増大などの問題で首相の姿勢をたたかず、貧困と格差の根源にある大企業を中心とした政治の転換を正面から迫りました。

高齢者への負担 佐々木庶民増税が生活襲う

連動して保険料跳ね上がる

首相不満が生ずることはあると思う

佐々木氏は、二〇〇一年から今までに、税と保険料の合計負担が三、四倍になった高齢者の例を挙げ、この過度な負担増にたいする首相の認識をたたかずしました。

「財源には限りがある。『共生』の理念でやつていかなければいけない」と負担増を正当化する福田首相。参院選で

安倍前首相が引き上げを明言しなかった消費税増税でも、「六月に、秋に消費税を含む税体系般について議論しようとすでにしている。ご理解を」とのことのべました。

大企業優遇

佐々木 高齢者に負担押し付け

もうけ倍増の大企業なぜ

まともに税金払わない

首相企業の立場も考え国民とのバランスを考える
佐々木 大企業に適正な心分の負担を

佐々木氏は、一方で大企業はバブル期より二倍近く経常利益を増やしながら法人税などの負担が十三・九兆円から十三・七兆円に逆に減っていることを指摘。法人税率を千

相。佐々木氏は、「国民にいた

「ぎりぎりの生活をしている高齢者に何倍もの負担を押し付けておいて、空前の利益を上げている大企業が、なぜまともに税金を払わないのか」——日本共産党の佐々木憲昭議員は10日、衆院予算委員会の質問で福田康夫首相を厳しく追及しました。逆立ち税制、非正規雇用の増大などの問題で首相の姿勢をたたかず、貧困と格差の根源にある大企業を中心とした政治の転換を正面から迫りました。

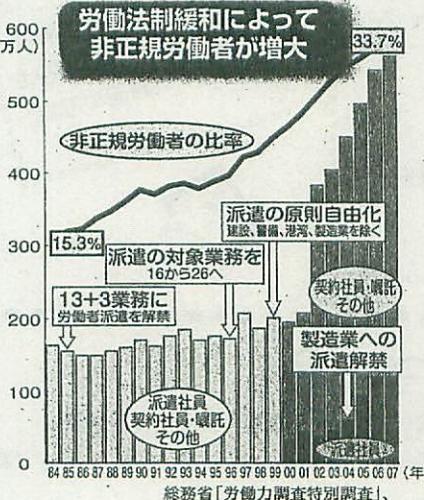
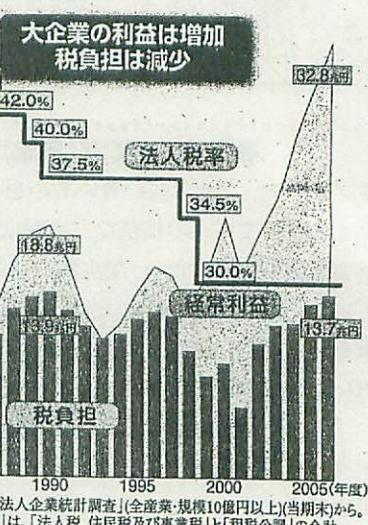
「非正規」の犠牲で 大企業に空前利益

大企業の空前の利益が、低賃金の非正規雇用の増大という犠牲の上にもたらされてい

た。ここでも首相は「(非正規雇用の増大は)社会の価値観の多様化や働き方の多様化もある」などとごまかしまし

ることを指摘した佐々木氏。信表明で「働く人を大切にす
る」と強調したことあげ、「そうであれば、『期間の定めのない直接雇用を基本にする』という原則に立ち返るべきだ」と迫りました。とりわけ、非人間的な「日雇い派遣」や「登録型派遣」の禁止を要

求める「労働政策審議会で見直しの検討を開始させた」(舛添要一厚生労働相)とする政



け負担を負わせるのではなく、大企業は適正な心分の負担をする。その方向に踏み出すべきだと」とたたかず。大資本家のための「証券優遇税制」についても「はっきり廃止を」と重ねて要求しましたが、首相は最後までいまいな態度を取り続けました。

佐々木大臣。現在、非正規労働者はどのくらいいるのか、全労働者に占める比率、何%でしょうか。舛添要一厚生労働相いわゆる非正規労働者の人数は、平成十九年四月から六月の四半期の数字

それで、一生懸命働いても年収二百万円に満たない、そういう人々が「ワーキングアーラ」とか「働く貧困層」と言われているわけです。全労働者の三分の一が非正規で働いている中で、特に派遣、契約社員、派遣社員、嘱託の場合、年収二百萬円未満の人の割合はどうなっていますか。そのうち女性の場合はどうでしょうか。

増田寛也総務相 調査で、派遣社員、契約社員、嘱託の場合、年収二百萬円未満の者の割合、男女計で49・6%、それから、契約社員、嘱託に占める割合は男女計で44・8%で

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日刊●月2,900円
日曜版●月 800円
新聞 赤旗 のお申込みは
790-3055まで